

総合計画審議会第3回会議で出された意見に対する考え方

開催日：10月10日

頁	項目	意見	考え方
-	全体	協働はすべてのテーマを覆う概念であるため、具体的な事業とともに、すべての分野に関わる概念である視点も重要視していただきたい。	テーマ別戦略の関連テーマにタグを付けて、他のテーマとの関連性を明示します。 1-1協働は、すべてのテーマに関連する旨の明示を行います。
-	テーマ別戦略におけるKGI	満足度などの客観的に把握できない項目を指標とするのはどうか。 満足度だけでは行政課題は評価できないのではないかと考える。	指標の是非については庁内でも議論した内容となっており、できる限り数値で把握できるものは優先的に配置しました。 定量的な指標は行動目標の指標となってしまうがちなため、成果として図るためには満足度が適切であると判断しました。
3	垂井町の将来像	将来像のコンセプトとして、持続可能性がキーワードになる。 ここで決意に近いものを掲載していただけると良い。	持続可能性を達成していく取り組みの中で地域や協働の視点が、最も重要なのではないかと考えます。 小学校区や自治会などの地域とともに創っていく社会が、10年後に目指す姿と考え、将来像を提示します。
5 56	施策の大綱 6 教育・文化	人財という言葉が気になる。経済活動などで利益を生む人が人財という表現かと感じるが総合計画に適切な表現か検討して欲しい。	言葉に込められたニュアンスを表現するため、人材という言葉の後に(「人財」と記述します。
5	施策の大綱	持続可能な開発目標(SDGs)について触れていないが、これをうまく活用していくことが、大切なのではないかと。全体的なテーマとしてご配慮いただきたい。	7総合計画を執行・実現できるまちの中に持続可能な開発目標(SDGs)に関する記述を追加します。
11	将来都市構 造図	ゾーニングについて、美濃国府を観光交流拠点に入れるべきだと思う。	美濃国府が観光交流拠点に入るよう範囲を修正します。
11	将来都市構 造図	伊吹地区の農村集落ゾーンを集落の形に修正して欲しい。 併せて農村集落ゾーンという表現を見直して欲しい。	伊吹地区のゾーニングを集落に合わせて修正します。 農村集落ゾーンの名前を郊外居住ゾーンと改めます。
38	3-4 公園	公園や子育てについては、近所の児童が遊べる公園が必要である。	公園では量もさることながら、質も重要であるという視点で満足度を指標にしました。
39	3-5 空き家等 対策	空き家対策について、持ち主が分からない家では、町が実施する案件と住民が対策する案件の2種類ある。 町が住民に周知させることが必要であると考える。	現在、空き家等対策計画を策定しており、適正管理と利活用を位置付ける方針です。 今後の町としての空き家に対する対策方針を掲げていきます。
40	3-6 上水道	上水道の場合、料金回収率と難しい表現ではなく簡単な分かりやすい表現にならないか。	料金回収率という表現の方法を検討させていただきます。

頁	項目	意見	考え方
41	3-7 下水道	下水道の問題があるが整備をどのようにするか目安を出していただく必要がある。	下水道の方針について、10年間の間に対策をしなければならないため、整備手法の検討を記述しています。
45	4-1 工業	工業の点について、新規企業誘致数を企業の新規誘致数に置き換えてはどうか。既存企業の移転や誘致が除かれてしまう。	目標指標「新規企業の誘致数」を「企業の新規誘致数」に改めます。
46	4-2 商業	商業の中で、大規模商業施設の誘致が入っていないのは違和感がある。商業施設は大きなインパクトがある。いいサービスは競争の中で成り立つ。 商業の仕方が大きく変わっているので、これらの記述や検討が必要なのではないか。	戦略中の魅力的な業種の起業支援という記述で、大規模商業施設のような新規出店も想定しています。 また、目標値の商業施設誘致数においても大規模商業施設も視野に入れていきます。
47	4-3 観光	観光ガイド育成の視点では、テキストなどが出来上がり、ガイドができる人を集めている状況。勉強会には来るが、ガイドをしてくれる方が不足している。 行政の援助などが必要であると考えます。	観光ガイド育成は、おもてなしの視点で重要で住民の協力も必要であると考えます。
48	4-4 農業	農業・林業は面積であるが、母数が変わる可能性があるのではないかと。その場合割合に変更したほうがいいのではないかと。	農地保全の視点では割合になると思いますが、農業経営の立場で判断して面積を設定しました。
55	5-4 健康・医療	健康医療について、特定検診などの受診率が悪い。 健康に関心をもっていただくことに取り組んでいただきたい。	戦略のねらいの中で、保健事業の充実や健康診査、がん検診などの受診率の向上に取り組むと記述しており、具体的な施策は組織別行動計画の中で取り組んでまいります。
57	6-1 学校教育	子どもに対するがん教育を位置付けられないか。子ども自身ががんに関心を持っていただくことが必要である。 また、防煙教育も必要。オリンピックに向けて受動喫煙予防を進めているが、町でも実施が必要である。 また、ピロリ菌の検査も必要。	戦略のねらいの中に、心身の成長過程に必要な教育環境の整備する旨を記述しており、具体的な政策は組織別行動計画の中で取り組んでまいります。
57	6-1 学校教育	子育てと学校教育の分野では、子どもの意向を調査する視点もある。家庭や家族の大切さなどは誰でも大切と答えそうだが、内情はかなり異なるのではないかと。聞き方などは留意が必要。	児童、生徒に対するアンケートの聞き方については、先生からかみ砕いた形で把握するような方法を検討します。
59	6-2 青少年育成	青少年育成については地域社会への誇りや、地域社会の居やすさなどを聞くことが大事ではないか。	6-1学校教育の目標指標、町に対する誇りと愛着を感じている子どもの割合に包含する内容であると考えます。